

平成 30 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	日常生活活動学	担 当 教 官 名	重永 理恵
対 象 学 生	1年生	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	<b>必修</b> ・選択	授業回数	15回
授業のキーワード			
授業の目標及び期待される学習効果	日常生活の基礎となる動作や身辺活動などの特徴を学ぶ		
授業の概要	<p>作業療法士に必要な「活動」「動作」「作業」を見る力を付ける為に、この講義ではそれぞれの活動の意味、どんな活動なのかを理解してもらいます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>日常生活活動学の講義を受けるにあたっての説明 ADLの基礎”</li> <li>ADL評価、起居動作①(姿勢について)</li> <li>起居動作①(寝返り・座位保持・起き上がり・立ち上がり・立位保持・移乗)</li> <li>起居動作②(寝返り・座位保持・起き上がり・立ち上がり・立位保持・移乗)”</li> <li>移動動作:歩行、車椅子、階段</li> <li>食事</li> <li>整容</li> <li>更衣(上衣・下衣)</li> <li>排泄(排泄コントロール)</li> <li>入浴</li> <li>睡眠・栄養・運動</li> <li>炊事</li> <li>掃除</li> <li>買い物・経済管理</li> <li>コミュニケーション(理解、表出)</li> </ol> <p>社会的認知(社会的交流、問題解決、記憶)</p>		
授業内容のレベル	標準レベル		
教科書・教材等	<b>標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学</b> 作業療法学 ゴールドマスター 日常生活活動(ADL)・福祉用具学		
授業の形式、視聴覚機器の活用	パワーポイントや実技を通した講義		
成績評価の方法	定期試験		
担当教官から	<p>「ここは大事!」「大切!」と指示したところは特に注意して理解してください。</p> <p>授業で学んだ所はもう一度、復習するようにしてください。</p> <p>習った専門用語は意識して使って覚えてください。</p>		

平成 30 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	作業療法評価学Ⅱ	担 当 教 官 名	谷村浩子 上林拓也
対 象 学 生	2年次	履 修 学 期	通 年
必修・選択の別	<b>必修</b> ・選択	授業回数	45回
授業のキーワード			
授業の目標及び期待される学習効果	<p>作業療法における基本である評価技術を身に着ける。特にこの講義では身体計測、関節可動域測定、MMT、知覚検査、上肢機能検査などを学ぶ。また、高齢者に対する評価についても学習を行う。実習や臨床で自信を持ってすぐに行えるような技術を身に着ける。</p>		
授業の概要	<p>1～15回： 身体能力の評価：関節可動域測定の意義、関節可動域検査、MMT概論、MMT部位別 16～30回： MMT部位別、ROM実技テスト、 30～45回： 知覚検査、表在知覚検査、深部知覚、協調性テスト、脳神経、摂食嚥下機能、排泄機能、COPM、上肢機能検査、MMT実技試験</p>		
授業内容のレベル	標準レベル		
教科書・教材等	標準作業療法学 作業療法評価学、新徒手筋力検査法		
授業の形式、視聴覚機器の活用	実技		
成績評価の方法	筆記試験		
担当教官から	<p>身体障害分野の要となる教科です。しっかりと学習し技術を身に着けられようして下さい。</p>		